

# 大学院特別講義のご案内

- ◆日時:平成 25 年 11 月 19 日(火) 17 時 00 分～18 時 30 分
- ◆場所:F 棟 5 階 弓倉記念ホール
- ◆講師:湯本 浩通 先生(徳島大学病院第一保存科:むし歯科・講師)
- ◆演題:“Electro-Magnetic Apical Treatment の実際・基礎実験から臨床応用まで”
- ◆要旨:感染根管治療では、根管系の形態が非常に複雑であることから、完全に病原細菌や感染歯質を除去する事は困難である。さらに、根管系のみならず根尖孔外の歯根表面に病原細菌が Biofilm を形成し、これが持続的な慢性炎症を惹起し、難治性の炎症性疾患を形成している事も示されている。しかしながら、複雑な根管系から病原細菌や感染歯質を除去するためには、現在の術式ではその除去効果や器具到達領域に限界があることから改善の余地は大きく残されている。さらに、破壊された歯周組織の再生促進を目的とした非外科的治療法も確立されていない。そこで我々は、病原細菌の消毒及び治癒促進に応用されている高周波治療に着目し、これまでに高周波・電磁波照射の口腔内細菌に対する殺菌効果(J. Appl. Microbiol. 2012)と、歯周組織に及ぼす影響として骨芽細胞の細胞増殖能の活性化や、様々な成長因子(Growth factor)の遺伝子発現と蛋白産生への影響 (AAE, 2012; IADR, 2012; 日本再生歯科医学会 2012)について報告してきた。現在、歯周組織や根尖病変部の病原菌の殺菌や炎症の治癒を促す治療法の開発を目指し、高周波・電磁波治療に関する臨床試験”を行っている。本講演では、これまでの基礎実験結果と大きな根尖病変を有する歯の根尖孔外及び根尖部根管に高周波・電磁波照射を行った臨床試験の症例について報告したい。
- ◆問い合わせ先:歯科保存学教室 (野杵・内線 2928)